

日墨シンポジウム

081121

西村六善

気候変動外交と日本メキシコの協力

1. 今後の展望：2009 年 12 月のコペンハーゲン国連会議は成功するか？

(1) 結論的には前向きと見る。

米国の変化

途上国の変化

事実の深刻化

国際世論の圧力

(2) 金融危機は温暖化対策を阻害するか？

両面ある。一面で捉えられない。

長期の視点とコミットメントが大切

2. 日本とメキシコはどう協力するべきか？

(1) 温暖化危機の共有→世界的な動きを助長：懐疑論への対抗軸の強化に資する。

(2) 削減義務を負うことで世界を動かしていく。

(3) メキシコの資金支援提案：今後の議論に有益な一石。

(4) 途上国の持続的開発と成長を両国で共に支援していく。

3. 結論

両国は地球温暖化防止の国際協力でのパートナー。

(了)